

水生生物保全センター
CENTER FOR CONSERVATION
OF AQUALIFE(略称:CAL)では、
アクアマリンふくしまの新しい展示
生物開発のための飼育研究をはじめ、
希少水生生物の保全に関する調査
研究を行っています。また、研究
経過や成果を紹介するコーナーを
設けています。

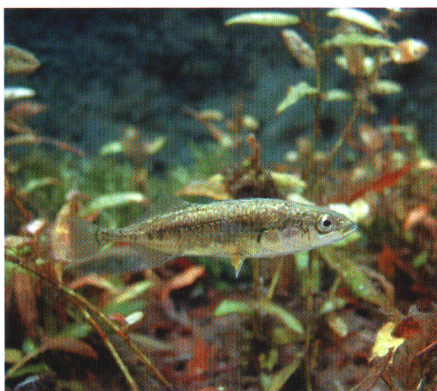


▲水生生物保全センター (CAL)

(1) 自然環境保全・保護

日本列島は、南北に長く伸びて
おり、変化に富んだ自然環境を有
しています。そして、そこには多く
の種類の生物が生息しています。
しかし、現在、伐採などによる森林
の減少や改変、河川や沿岸の水質
汚濁や汚染、または乱獲などにより、
人知れず姿を消しつつある生き物
たちも少なくありません。このよ
うな絶滅の危機に瀕している生き
物たちを「絶滅危惧種」と呼んでい
ます。

アクアマリンふくしまではシナイ
モツゴやゼニタナゴ、会津地方の
イトヨなどさまざまな絶滅危惧種



▲イトヨ



▲シナイモツゴ

を育て、環境保全、保護に関する
啓蒙活動を行っています。

(2) アクアマリンの取り組み

アクアマリンふくしまでは、平成
9年より飼育困難生物実験施設を
建設し、地域になじみ深く飼育の
難しい生物の飼育技術の開発を試
みてきました。

この結果、サンマ、サヨリ、
トビウオの仲間をはじめ、さまざま
な生物の飼育、繁殖に成功しまし
た。今後もCALでは、地域や私
たちの生活に密着した生物を対象
とした研究に取り組んでいきたい
と考えています。



▲サンマ



▲アマミイシモチ